

旅行取扱状況の概観（平成28年11月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、学生団体は前年比130.8%と前年を上回ったが、一般団体は同69.0%と前年を下回り、団体旅行合計で同86.4%と前年を下回った。企画旅行については前年比96.3%、個人旅行については同92.8%と前年を下回った。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比91.7%と前年を下回った。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比99.5%と前年を下回ったが、学生団体は同103.2%と前年を上回り、団体旅行合計で同101.5%と前年を上回った。企画旅行については前年比89.5%、個人旅行については同98.5%と前年を下回った。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比94.1%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比116.5%と前年を大きく上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の11月の総取扱額は前年比94.4%となり、前年を下回った。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、学生団体は修学旅行などの取扱人数の増加により、前年比130.8%と前年を上回り、一般団体は取扱人数の減少により、同68.6%と前年下回った。この結果、海外団体旅行合計で同78.7%と前年を下回った。

国内団体については、一般団体は宗教法人の団体参拝などの取扱の増加により、前年比100.6%と前年を上回り、学生団体は修学旅行などの取扱人数の増加により、同103.2%と前年を上回った。この結果、国内団体旅行合計で同102.0%と前年を上回った。

外国人旅行は前年比117.1%と前年を大きく上回った。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトについては、方面別取扱人数の状況では、北海道方面は前年を上回ったが、その他の方面は前年を下回り取扱額で前年比82.5%と前年を下回った。

ホリデイについては、テロ等の影響が続いており、ヨーロッパ方面は引き続き不調、方面別取扱人数の状況では、アジア、オセアニア、アメリカ、ハワイ方面が前年を上回ったが、その他の方面は前年を下回り取扱額で前年比95.9%と前年を下回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、東地中海、北欧、ロシア、オーストラリア方面などは好調に推移したが、アメリカ、カナダ、アラスカ、ハワイ方面が不振であり、前年比96.0%と前年を下回った。

バス旅行を除く国内旅行部門は、南東北や山陰方面が堅調であったが、北東北、関東、九州方面が不振であり、前年比94.2%と前年を下回った。

バス旅行部門は、首都圏地区の日帰り旅行はほぼ前年並みに推移したが、宿泊付きの旅行が不振であり、前年比88.2%と前年を下回った。

テーマ旅行部門は、国内旅行は「ひとり旅」「歩く」「ハイキング」などの紅葉商品や女性限定商品が好調であり、海外旅行は「ひとり旅」の西欧が不振であったが、東欧などの他方面がけん引し、前年比107.5%と前年を上回った。

以上